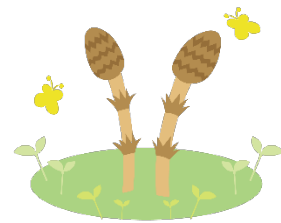


やすらぎ短信

令和5年
4月号

祈年祭



春になると、浦幌町内各地域にある神社で春祭りが行われます。この春祭りのことを正式に「祈年祭」（きねんさい）としごいのまつり」といいます。「祈」は「祈る・願う」、「年」は「稲の美称」を意味します。日本人は古来より、四季のはじまりである春に、お米を始めとする五穀の豊穰を天地の神々に祈るためのお祭りを第一にしてきました。全国の各神社をはじめ、浦幌町内にある各神社でも、開拓以来、この精神が受け継がれ今も尚、春の「五穀豊穰への祈り」が神々に捧げられています。浦幌町でも少子高齢化が進んでおりますが、今後もこの祈りを大切に伝えていきたいです。

「月毎限定御朱印」

二年目授与開始

昨年四月より授与を開始しました「月毎限定御朱印」が、先月の三月で十二カ月分すべてが揃いました。今年度も四月より昨年度同様に毎月授与致します。皆様のご参拝をお待ち致しております。

モンガ・ウサギ・シカ)の輪の中に季節の花を浮かべ、更に、御朱印の右横にも季節を感じる絵柄を添えております。



- 四月 「桜・つくし」
- 五月 「菖蒲・兜」
- 六月 「紫陽花・和傘」
- 七月 「朝顔・笹・短冊」
- 八月 「向日葵・金魚」
- 九月 「小菊・月見団子・すすき」
- 十月 「桔梗・どんぐり・もみじ」
- 十一月 「秋桜・千歳飴」
- 十二月 「雪の花・雪だるま」
- 一月 「松・初日の出・富士山」
- 二月 「梅・節分豆」
- 三月 「桃の花・雛人形」

●絵柄について

浦幌神社の境内で実際にみることが出来る動物たち(シマエナガ・リス・フクロウ・タヌキ・キツツキ・キツネ・モ

●デザインについて

御朱印の絵柄は「十勝ほんわかシマエナガ」のブランドを立ち上げ、活躍されている帯広市在住の小原和恵さんが手がけました。

●初穂料について

八〇〇円より授与致します。

春の剪定

二月二十五日
三月二日までに
境内の梅と藤の
剪定を致しまし
た。梅は今から三
十五年前、藤は三



十年前に先代宮司が植えたもので、藤は
少しずつ棚を増やして現在に至ります。

この度、今年独立したばかりの帯広出身
の庭師である森亮さんのご縁をいた
だき、剪定をお願い致しました。どの木
も手際よく、剪定していただき形を整え
てくださいました。梅も藤も毎年きれいに
花を咲かせますので、今後も参拝者の目
を楽しませてくれそうです。

春の社日祭を斎行

去る三月二十一日午後一時より、春の
社日祭を斎行致しました。このお祭りは、
千歳地区と帯富地区の農家さんが参集
し、浦幌神社社殿左側に建立されている
社日碑に農耕神をお招きし、その年の五

穀豊穰と農事安全を祈願するものです。
本年も農作業の事故がなく、天候にも恵
まれ、豊作の年となりますようにお祈り
致しました。



浦幌神社氏子会定期総会

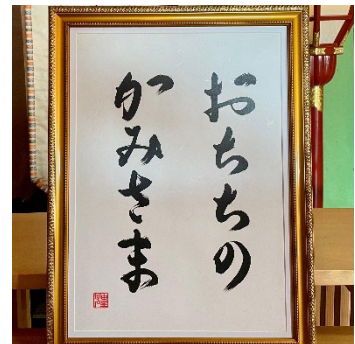
書面会議にて開催

今年度も浦幌神社氏子会定期総会は、
三月二十二日付けでの書面会議で開催
し、原案通りご承認を頂きました。夏季
みこし祭の当番区は、住吉一区・新桜町・
緑町の三町内に再度お願い致します。四
年ぶり神輿渡行となりますが、しつかり
と準備を進めて参ります。氏子の皆様
は、今後ともご協力の程宜しくお願い申
し上げます。

おちちのかみさま

絵本の題字完成

乳神神社の
御鎮座四十周年
記念事業であ
る、乳神様の絵
本作成が進んで
おります。絵本
を手がけるのは、クママクラ（熊倉知己）
さん。そして、絵本の表紙を飾る題字を
世界で活躍中の書道家デザイナー松尾
由里子さんが手がけてくださいました。



乳神様の温かみを感じられる素敵なた
題字です。絵本の完成は、四月末を予定し
ており、公共機関に寄贈致します。

浦幌神社行事予定

- 四月一日 月次祭
- 四月十五日 月次祭
- 四月二十九日～五月五日 鯉のぼり

発行 浦幌神社社務所

北海道十勝郡浦幌町字東山町十八番地の一

電話 〇一五・五七六・二四四八